



④会場に集まった会員たち。思い出話に花が咲きました ⑤永年功労者を表彰 ⑥松前町出身の藤田かおりさんによる民謡



### 半世紀を祝い 発展を誓う 松前町商工会創立 50 周年記念式典

松前町商工会の創立 50 周年記念式典は 1 月 27 日、松前総合文化センターで開かれ、出席者約 250 人が、商工会が歩んだ半世紀の道のりを振り返りました。

商工会は 1961 年 4 月に 315 人で発足。現在 630 人が加盟しています。式典では、三好茂会長が「経営環境は厳しいが、大型ショッピングセンターとの共存共栄を図るなど既存の枠組みを超えた取り組みで、今後も地域に根ざした活動を続けたい」とあいさつ。白石勝也町長が「時代に合う経営を模索し、今回の節目を契機にさらに発展してほしい」と祝辞を述べました。

また、50 年前に発起人となり、現在まで会員である永年功労者 10 人を表彰。被表彰者を代表して、大内祥久さんが「商売は決して楽なものではありませんが、会員同士励まし合って、ますます発展していきたい」と決意を述べました。

引き続き行われた記念パーティーでは、これまでの歩みをまとめたスライドショーが上映され、参加者は思い出話に花を咲かせていました。



### 鬼は～外っ!

町内各所で節分の豆まき

前夜から降り続いた雪で、町内でもめずらしく積雪が見られた 2 月 3 日、町内の各幼稚園・保育所で、節分の豆まきが行われました。

黒田保育所の節分集会では、保護者 2 人が鬼にふんして登場。あまりの迫力に泣き出す子ども続出しましたが、園児たちは協力して豆を投げて鬼を退治しました。鬼退治の後は、ウインナー、ブロッコリー、イチゴなどを使って「鬼面ライス」を作り、節分を楽しみました。

松前幼稚園では節分を前に、季節の風物詩に触れ、由来を知ってもらおうと、2 月 2 日に松前小学校 1 年生と節分交流会を行いました。全員で節分についてのお話を聞いた後、園児らは小学生と協力して、鬼のまとあて、豆を入れる升、鬼のお面を作りました。その後、園庭で元気いっぱい走り回って豆まきをしました。三好悠音くん(松前小 1 年)は「幼稚園のお友達と一緒に作ったことが楽しかったです」と笑顔で話していました。



①松前幼稚園児の名前を書いてあげる松前小学生 ②幼稚園庭で元気に「鬼は～外っ」 ③鬼面ライスを作ってにっこり ④鬼を退治する黒田保育所の子どもたち



### 園児を避難 さすまたで防御

松前幼稚園で不審者対応訓練

松前幼稚園は 1 月 27 日、伊予警察署の協力で、不審者対応訓練を実施しました。

訓練は、園内に刃物を持った男が侵入したと想定して行われ、犯人役が署員が東門より園内に侵入するのを職員 2 人が防御。その間に、別の職員が笛を吹き園児たちを 2 階保育室に避難させ、石丸幸子園長が警察に通報。犯人が大声を上げて刃物を振り回しはじめたところを、職員と石丸園長の支援要請を受けて駆け付けた西公民館の坂本義武館長が、さすまたを使って取り押さえました。

同署生活安全課の本田稔課長は「さすまたを足にかけて倒した対処の仕方は良かった。できれば大声を出してほしい。犯人を威嚇することにも、近隣に知らせることもなる」と総括。石丸園長は「動揺したが、園児が素早く避難できて良かった」と話していました。

訓練後には本田課長の講話があり、園児らは、知らない人に連れさらそうになった際の対応などを学びました。



④さすまたを使って取り押さえる先生たち ⑤本田課長の話に耳を傾ける子どもたち ⑥園児を素早く避難



### 親が一日保育士に 白鶴保育所で保育士体験

白鶴保育所で 1 月 25 日、保護者が 1 日保育士を体験しました。これは、保育士となって子どもと接してもらうことで、保育所との関わりや子どもに対する相互理解を深めようと初めて取り組んだものです。

この日は 4 人のお母さんが参加。まず、節分のお面づくりとお店やさんごっこの準備を子どもたちと一緒にしました。給食や昼寝の準備や片付けなども行い、参加者は普段と違った形で子どもたちと触れ合いました。

保育士や子どもたちと過ごしてみて、折井智栄さんは「普段の生活で手を貸しすぎていたなと感じました。自分のできることは、ゆっくりでもさせてあげて、待つ必要があると思いました」と話していました。西畑美鈴所長は「保育士にも好評でした。子どもへの関わり方はいつもと変わらなかった様に見えますが、緊張感があったと思います。今後、お父さんたちにも参加してもらいたい」と話していました。



①お昼寝準備で着替えをお手伝い ②寝かしつけ ③一緒に給食も食べました





**新しい区長さんが決定**  
平成 24 年区長会

平成 24 年の各地区の区長さんが決まりました。また、2月15日に行われた区長会で、松前町区長会長に灘野保さん(写真中)、副会長に大西淳弘さん(写真左)と大政勉一さん(写真右)が選ばれました。

各地区の区長さんは下表の通りです(敬称略)。

行政区	氏名	電話
南黒田	岡井 武彦	984-6603
北黒田	大西 安廣	984-2384
宗意原	灘野 保	984-3448
新立	仲島 政夫	984-1069
本村	三好 孝善	984-3001
筒井	村井 好明	984-4163
社宅	高尾 大介	984-7626
徳丸	中野 良雄	090-6285-7763
中川原	大政 勉一	984-1797
出作	神野 英昭	984-4897
神崎	高石 通	985-0370
鶴吉	佐伯 和雄	985-1605
横田	篠崎 正幸	984-0710
大溝	田中 安男	984-9301
永田	古谷 修藏	984-7580
東古泉	森下 昌隆	984-1957
大間	大政 一夫	080-2986-7185
上高柳	足立 武政	984-2964
恵久美	大西 淳弘	984-1253
昌農内	喜安 光男	984-9036
西高柳	宇野 洋一	984-8091
西古泉	勝見 正史	090-7620-1522
北川原	三好 勝志	984-7936
塩屋	木村 博	985-0595

**団体で準優勝 大川助俊さんが  
フォークリフト部門で優勝**  
愛媛県農業機械安全利用技能競技大会

松前町農業機械士会(岡井剛太郎会長他7人)は2月10日、JA伊予地区カントリーエレベーターで行われた愛媛県農業機械安全利用技能競技大会に出場し、団体の部で準優勝しました。また個人の部では、フォークリフト部門で大川助俊さん=北川原=が優勝しました。この大会は、農業機械士の技能向上と安全利用の推進を目的とし、運転操作技術を競うものです。



**広報まさきが3部門で特選**  
愛媛県市町広報コンクール

平成23年愛媛県市町広報コンクールで、広報まさきが広報紙(12月号)、一枚写真(8月号表紙)、組み写真(9月号P8-P9)の3部門で特選に選ばれました。特選作品は、県の代表として全国広報コンクールへ推薦されます。

このうち広報紙は、企画、文章、レイアウトなどを基準に審査されました。12月号は「家族」がテーマ。「家族の写真など一貫性を持った仕上がりになっている」と評価されました。8月号の表紙は、笑顔あふれる子どもの表情が高い評価を受けました。

頑張る姿や素敵な笑顔を取材させてもらった皆さん、広報紙を配布して下さる皆さん、読んでくれる皆さんのおかげです。いつもありがとうございます。これからも、もっともっと愛される広報まさきを目指します。



④一列になって流れるようにスゴ技を披露したけん玉パフォーマンス ⑤書道パフォーマンス ⑥篠原律子さんによる日本舞踊

**磨かれたスゴ技を披露**  
まちおこし演芸名人会

松前町文化協会主催の「第5回まちおこし演芸名人会」は2月12日、松前総合文化センターで開催されました。回を重ねるごとに盛んになってきたこの名人会。会場は約700人の観客で満席状態。5回目の今年も、さまざまなジャンルの名人たちが、自慢の腕を披露しました。

大会は、松前サムルノリの皆さんによる韓国太鼓で開幕。息の合った迫力満点の演奏に、観客は一気に引き込まれました。高瀬信幸さんは、松前小の児童7人と一緒にけん玉パフォーマンスを、松前中2年の穴山光太さんと小田原佑さんはおもしろリフティングを披露。そのスゴ技に、会場からは大きな拍手が送られていました。この他、書道パフォーマンス、バレエ、相撲甚句など、ステージで繰り広げられる多彩な芸に、観客は魅了されていました。

第1回から欠かさず見に来ているという山瀬文子さん=南黒田=は、「毎年元気をもらう。来年も楽しみにしています」と話していました。

**伊方原発の事故想定し訓練**  
愛媛県原子力防災広域避難訓練

福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、同様の事故が伊方原子力発電所で発生した場合を想定した、愛媛県原子力防災広域避難訓練が2月16日に行われました。

今回の訓練は、伊方原発から30キロ圏内の7市町を中心に全体で約1万人が参加。避難先の一つとなった松前公園体育館には避難所が設置され、伊方町から70人がバス2台で避難し、中村時広県知事が、ヘリコプターで避難状況の確認に来ました。

避難所では、放射線のスクリーニング検査を行い、そのレベルに応じて除染や衣服の廃棄などの処置を行いました。その後、避難者一人一人に保健師が問診を行い、事故当時の状況や現在の状態などを聞き取り、健康相談を実施しました。また、安全に避難できなかった場合に服用する安定ヨウ素剤の説明も行われ、避難者たちは熱心に耳を傾けていました。

訓練に参加した女性は「事故があつてから高い防災意識を保っているの、冷静に行動できた」と話しており、避難者たちのスムーズな動きで、予定時間よりも早く訓練終了となりました。



④健康相談。避難者たちの変化を見逃さない ⑤放射線のスクリーニング検査。体全体をくまなくチェックする ⑥安定ヨウ素剤の資料に目を通す避難者たち